



駒澤会だより

第39号

「駒澤愛」を紐帯に、 「駒澤会」のさらなる発展を！！

駒澤大学総長
駒澤大学駒澤会名誉会長 永井 政之

令和5年12月18日
駒澤大学駒澤会 発行



長かった酷暑がある日突然終わりを告げ、急に冬が到来しました。これも地球温暖化に由るものと受け止めています。

ともあれ駒澤会会員の皆様におかれましては、その後、恙なくお過ごしのことと拝察いたします。

箱根駅伝優勝にはじまった令和5年、コロナやインフルエンザへ注意を払いつつも、大学の行事は当面順調に行われています。学生食堂「Kitchen駒膳」の賑わいや仲間同士の語らいの様子などからすれば、学園内の雰囲気はコロナ禍以前に戻った感すらあります。

しかし日本だけでなく世界中が、様々な面で「閉塞感」の中にあることは否定できません。特に経済的側面のそれは誰もが強く感じているのではないのでしょうか。その影響を最も強く受けるのは社会的弱者であり、そこでは学びの途上にある若者も例外ではないように思います。

そのような現状を注視しつつ、奨学金支給をはじめとして様々なサポートして下さる駒澤会の存在にはとても重いものがあります。教育後援会や同窓会で培われた「駒澤愛」で結ばれた駒澤会の絆が、より太く、より広がることを祈念いたします。

合掌

教育後援会との懇親会

総務部 熊田 央子

令和5年8月23日、教育後援会との懇親会が新橋の『中国料理 新橋亭（しんきょうてい）』にて開催されました。

6階の見晴らしの良い落ち着いた貸切のお部屋で本格的なコース・メニュー、そして駒澤会とのことで特別な老酒も提供され、穏やかな雰囲気の中、駒澤会 山田副会長の挨拶と乾杯で始まりました。

そのお話の中で「信頼・縁・集まって食事を楽しむ」という一節がありました。

私は今年の4月に入会した1人ですが駒澤大学卒業生の父兄の食事会でたまには美味しい食事を楽しんでみたいと参加してみました。都合の良い時の数回の参加ですが仰る通りの雰囲気の中で毎回楽しく過ごさせていただいています。

そしてそれが今日まで、大学と併せて教育後援会始め駒澤会の方々たちで1代目から縁を繋ぎながら運営されてきたことに感銘を受けました。

教育後援会からは、櫻井会長と山本副会長のご参加をいただきました。

山本副会長は深沢小学校出身で偶然にも駒澤会の厚生部 楠副部長も同じ学校出身の同窓生ということがわかるなど段々と盛り上がり宴もたけなわの中、広報部 桐畑副部長のジャンプ一本締めで閉会となりました。

お料理、お酒はもちろんですがお土産の肉まんあんまんもとても美味でした。

まだご参加されたことのない会員の方もご都合が合うときにご一緒にいかがですか。



懇親会に参加して

駒澤大学教育後援会 会長 櫻井 秀則

この度は駒澤会懇親会の席にお声掛けくださり誠にありがとうございました。短い時間ではありましたが、これまでの教育後援会の事や今年度の箱根駅伝応援、新年賀詞交歓会など駒澤会の方々と連携する行事についてもお話ができ大変意義のある時間となりました。

私からは今年度のこれまでの状況をご報告させていただければと思います。今年度はコロナが5類へ移行したこともあり、教育後援会は年度始めより制限なく活動を行っております。然しながら、ここ3年間で停滞していた部分もありますので、十分な準備や進行ができず躓くこともあります。少しずつ本来の活動を取り戻している気がいたします。

今年度の定期総会は、例年通り中央講堂で開催いたしました。大学への入構制限がなくなったこともあり、予想を超える180名の会員の方々にお越しいただきました。

その一方で、定期総会に合わせて開催していたスプリングフェスティバルは調整がつかず開催できませんでした。

このような状況ではありましたが、少しでも会員の方にお越しいただけるようにと新図書館・禅博物館見学、坐禅体験などを企画したところ、幸いにも大変好評で今後も継続することになるかと思っております。

6月の教育懇談会は、実に4年振りの開催となりました。地方・東京会場合わせて14会場で開催しております。以前と比べますとまだまだ開催会場数は少ない状況となっております。また個別面談は予約制のオンライン面談へと変わり、午後のプログラムはご来場いただく学部長にミニ講義を行っていただくなど内容も変化しております。

アンケート結果などからは対面による懇談会の開催を希望する声を多数いただいておりますので、より多くの方々にご来場いただけるよう今後は会場数を増やすなど検討したいと思っております。

東京会場については600名を超える会員の方々にお越しいただきました。こちらは以前と変わらない水準に戻ってきております。また東京会場に限り午後に構内見学会を開催いたしました。定期総会に続きこちらも大変ご好評をいただきました。

後期の活動は、三大駅伝応援、サークル応援、賀詞交歓会、各支部との交流会など多くの行事が予定されております。また次年度に向けた予算編成も始まります。在学生に幅広く支援が届くよう、また必要な支援が拡充できるように努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



駒澤会「秋の研修会」に参加して

厚生部副部長 滝沢 憲示

令和5年10月14日（土）～15日（日）1泊2日で駒澤会「秋の研修会」が実施され参加しました。新型コロナウイルスの影響で、4年ぶりの開催です。今回の行先は箱根でした。教育後援会の櫻井会長（駒澤会参与）も参加してくださり、秋の研修会参加者は19名でした。

集合場所は新宿駅、箱根湯本駅、ホテル（エクシブ箱根離宮）の3箇所です。新宿駅集合の人たちと箱根湯本駅集合の人たちは、箱根湯本駅で合流し、駅近くの蕎麦屋さんで一緒に昼食をいただきました。この日は快晴で観光日和でしたので、温泉街散策を楽しみながら各々お土産を購入したりしました。箱根湯本駅からバスで宮ノ下温泉に行き、バス停近くの「エクシブ箱根離宮」へ向かいました。このホテルは会員制のホテルですが、一戸会長がお取り計らいくださり、今回団体に宿泊することができました。エントランスには箱根の美しい景色がパノラマに広がっており立派でした。ホテル集合の人と合流してチェックイン後、各部屋に移動し荷物を置いて講演会場に行き、永井政之総長を講師にお招きし、拝聴しました。

「SDGs～仏教徒の立場から～」と題した講演で、私は次の事が印象に残りました。

1. 仏教は「少欲知足」を説いている

『遺教経（ゆいきょうぎょう）』に「放逸にして五欲（財欲・色欲・飲食欲・名誉欲・睡眠欲）に入らしむることなかれ。」と書かれている。

色欲と飲食欲と睡眠欲は、sinカーブのように変化してある程度で満足状態になるが、財欲と名誉欲はtanカーブのように変化して止まらない傾向がある。

道元禅師『正法眼蔵』の掉尾「八大人覺」に継承される永平寺入口にある門柱のことは

「杓底一残水 汲流千億人」（杓の水を全部使わず流れに戻し、皆で飲む）

2. 『ブッダ最後の旅—大パリニバーナ経—』から自灯明と法灯明の教え

この世で自らを島とし、自らをたよりとして、他人をたよりとせず、法を島とし、法をよりどころとして、他のものをよりどころとせずにあれ。



永井政之総長にはお忙しいところ、駒澤会のために箱根までご講演に来てくださり感謝申し上げます。

講演会後部屋に戻り、温泉を楽しんだ後、懇親会を行いました。駒澤会のために設けてくださった懇親会場では、夕食を楽しみながら厚生部が企画したカラオケ大会で盛り上がり、会員相互の懇親を深め、盛会裡に終わりました。



翌日はあいにくの小雨。ホテルで美味しい和朝食膳をいただいた後、「箱根ゴールデンコース」観光へ出発しました。

まずは宮ノ下駅から箱根登山鉄道で強羅駅に行き、強羅駅で箱根登山ケーブルカーに乗り換えて早雲山駅に行きました。早雲山駅から大涌谷駅に行くロープウェイから、小雨の中で進行方向右下の仙石原方面の雲海の上に虹が掛かっているのが見えました。虹を見上げることはありますが、上から見ることはなかったので、とても驚き嬉しく思いました。大涌谷駅では、30分ほどの自由時間がありました。駅周辺を散歩し、名物の黒玉子を食べながら硫黄の匂いに包まれ記念写真を撮るなど満喫しました。次に、大涌谷駅からロープウェイに乗って紅葉し始めた山や芦ノ湖を見ながら桃源台駅に行きました。ずっと小雨だった空に晴れ間が現れ、桃源台から観光船に乗るころには晴天に！おかげさまで芦ノ湖からの箱根の景色を堪能しながら箱根町に行くことができました。

箱根町では箱根ホテルで昼食をしました。悪天候の中移動してきたので、箱根神社には行かず芦ノ湖を背景にしたホテルの庭園での記念撮影や、昼食の時間をゆっくりと楽しむことにしました。



続く ⇒

最後に、この研修会の目玉である「箱根駅伝ミュージアム」に移動して見学しました。箱根駅伝ミュージアムに事前に団体でいく旨を話してあったので、ガイドがついてくださり、力説を聞きながら見て回ることができました。大八木総監督が駒澤大学陸上競技部の選手だった時代に「花の2区」で区間賞をとった時の写真や、駒澤大学から借りてきたという2023年の優勝トロフィーも展示してありました。トロフィーは数日後には返還されるとのことで、見ることができラッキーでした。箱根駅伝ミュージアム見学後、すぐ横にある箱根駅伝の往路ゴール地点・復路スタート地点で記念写真を撮りました。2年連続3冠への期待がより高まり、第100回大会が楽しみです。秋の研修会に参加して駒澤大学とのご縁を強く感じた2日間で、とても良かったと感じました。



※ 【写真中央】第99回大会の優勝旗やトロフィー等（撮影許可をいただきました）

駒澤会奨学金に関するご報告

駒澤会では、経済支援を希望する各学部の成績優秀者に対して、1人20万円の奨学金を20名に給付する『ゆめ基金』（駒澤会奨学基金）を設立し、発足以来、1,100余名の学生に奨学金給付を継続しておりました。

駒澤大学には、「駒澤大学百周年記念奨学金」と「駒澤大学同窓会奨学金」、「駒澤大学駒澤会奨学金」の3種類の学内奨学金制度が設けられておりますが、令和2年4月より文部科学省が始めた「高等教育の修学支援新制度」による採用者が多く、学内奨学金対象者数が大きく減少したため、昨年度に引き続き令和5年度も駒澤会奨学金における奨学生選出に至らず、令和5年度奨学金基金予算は未執行となりましたことをご報告いたします。

また、ここ数年にわたって奨学金基金予算が未執行となっている状態に対し、大学奨学金担当部署と検討し、令和6年度以降の駒澤大学奨学金規程を改正することが決定いたしました。来年度発行号で、駒澤会奨学金給付のご報告ができることを楽しみにしております。

日頃よりご支援いただいている会員の皆様には改めて御礼申し上げます。引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。

- 基金管理委員会からのお知らせ -

基金管理委員会より、前回は報にてご報告した以降の運用状況について、以下のとおりお知らせいたします。

運用先	令和5年8月～令和5年11月までの利金	備考
野村証券	121,524 円	みずほ・三菱 UFJ 社債
みずほ銀行	70 円	普通預金利息
世田谷信用金庫	178 円	定期預金利息
合 計	121,772 円	

基金管理委員会 委員長

- 各部入部のお誘い -

駒澤会会員の皆さまに、駒澤会の運営に携わる各部への入部をお誘いしています。

会の運営は、以下の3つの部に分かれて活動しています。2～3ヶ月に1度ほどのペースで会議を行っています。

ぜひ一緒に、駒澤会の活動を盛り上げましょう！入部をお待ちしております。

希望される場合は、駒澤会事務局・谷国（タニクニ）までご連絡ください。

総務部	駒澤会の規程や運営費について検討し、活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。
広報部	会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、様々な意見を出し合い和やかに進めています。
厚生部	会員の皆さまが楽しく有意義な時間を過ごせるよう、各種行事を検討しています。

- 入会者ご芳名 -

駒澤会にご入会いただき誠にありがとうございます。新規会員の皆様のご芳名を掲載させていただきます。今回は令和5年7月初旬から令和5年12月初旬までの期間にご入会いただいた方を掲載します。なお、掲載の同意が確認できなかった方は匿名とさせていただきます。

鈴木 孝仁 様	根本 和子 様	齋藤 孝道 様	武井 由佳 様
---------	---------	---------	---------

他匿名 7名

世界に誇れる日本の魅力に四季があります。特に季節毎に自然が織りなす景色はいつの時代も人々を魅了し、都会の喧噪を忘れさせてくれます。

社会情勢的にも行動が緩和された今年、折角なので私も秋を感じようと少しばかり足を伸ばして京都に出掛けてみることにしました。京都の秋はまだ始まったばかりでしたが、色づき始めた赤い葉が緑葉の隙間から遠慮がちにのぞいている景色は、久しぶりに賑わう多くの観光客に頬を赤く染めて少し照れているように見えました。また、時折吹く風にゆっくりと右に左に葉を揺らす姿は、私達の訪れを歓迎してくれているようにも見えました。自然は何も語ってはくれませんが、いつでも優しい姿で私達に豊かな心と生きる活力を与えてくれます。日常に追われ、時に気持ちが疲れたり荒立ったりすることが多い生活を送っていると自ずと自然の中に身を置きたくなるのは、私達がそんな強さと優しさを求めているからかもしれないなどと、徒然考えながら全身で秋を満喫して京都を後にしました。

季節は巡って間もなく冬。思ったよりも早く足音が近づいているようです。今度は都会を彩るイルミネーションに心躍らせることでしょうか。時代は変わっても、人は寄り添い優しさに包まれてこそ心豊かに人生を送れるものです。人との関わりを持たなかったここ数年、社会や組織に煩わしさを感じ自分一人に居心地の良さを感じたこともあります。人の温もりや自然の壮大さに触れることこそ本来の姿なのかもしれません。さて、この冬はどこに出掛けてみましょうか。

☆-★-☆-★-☆-★-☆-★
駒澤会新規会員募集中
 ★-☆-★-☆-★-☆-★-☆

駒澤会では新規会員を随時募集しております。ご友人、お仲間、駒澤大学ご出身のお子さまがいる方はいらっしゃいませんか？

縁のある駒澤大学を応援しつつ、様々な行事を通して楽しく交流しましょう♪♪



【駒澤会ホームページのご案内】

駒澤会 検索 

スマートフォンはこちらからアクセス →



行事予定のお知らせ

【大学】

- 12/26～1/4 冬季全学休業期間
- 2/4～8 2月一般入試
- 3/6・7 3月一般入試
- 3/23・24 卒業式

【駒澤会】

- 1/3 箱根駅伝応援企画 (★)
- 1/27 役員会
- 2/10 駒澤会新年賀詞交歓会 (★)
- 3/9 役員会

※ (★) は案内を同封しております。



駒澤会だより 第39号

発行日：令和5年12月18日 〒154-8525 世田谷区駒沢1-23-1

発行者：駒澤大学駒澤会広報部 TEL：03-3418-9189 / Mail：komazawakai@komazawa-u.ac.jp